

「リニューアル」(土手)

今年は10年ぶりに5月に梅雨入りし、蒸し暑い日が長く続いておりますが皆さまいかがお過ごしでしょうか？私は、このブルブル汗だくの季節をのりきるため、帰宅後のルーティンを「ご飯の前に風呂」に変更することにしました。すると、以下の多くのメリットを享受出来るようになりました。①とにかくさっぱりする(これが一番)②なんとダイエット効果もあるらしい。(空腹感がおさまる)③風呂の途中、「ご飯の後に風呂」の場合より、体が引き締まっている気がして気分がいい(気のせいかも)④とにかく後のビールがうまい(飲みすぎ注意)⑤あとは寝るだけ。(寝落ちOK)ちょっとした事ですが、見直す事って大切なことだなあと感じました。そんな事で、弊社ホームページをリニューアルしました👉前作も多くの皆様にご好評いただいておりますが、新たにデザインも一新し、親しみもありませんながら、スタイリッシュなページとなっております。マイコモンログイン用バナーや最新のチャットポッド、過去の法人通信の履歴など、もりだくさんです。ぜひ一度ご覧いただけますと幸いです。



知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【2023年度の税制改正について】

今回は2023年度の税制改正のポイントについてお話しします。個人所得課税については、家計の資産を貯蓄から投資へと資産所得倍増につなげるべく、NISA制度の拡充と恒久化措置が講じられました。それにより「つみたて投資枠」については年間上限額を120万円に拡充し、新たに設けられた「成長投資枠」の年間投資上限額を240万円に拡充するとともに「つみたて投資枠」との併用が可能となりました。資産課税については、相続時精算課税制度における基礎控除(年110万円)の創設により、この制度の選択後も毎年110万円以下の贈与については贈与税の申告が不要。また資産移転の時期に対する中立性を高める観点より、暦年課税における相続前贈与の期間を3年から7年に延長したほか、延長した期間に受けた贈与のうち100万円については相続財産に加算しない見直しが行われました。この他、法人課税については研究開発税制の見直し、先導的人材投資に関する税制の創設なども行われました。



世界の偉人伝

今月の偉人：【ハンムラビ】

ハンムラビ王は紀元前18世紀頃のバビロン第1王朝の王です。現在のイラクに位置するメソポタミアは六十進法や七曜制、アルファベットの起源など高度な文明が存在していました。第6代の王に即位したハンムラビは全メソポタミアを統一し駅伝制やかんがい用水路を建設しました。ハンムラビ法典の「目には目を、歯には歯を」の真意は、過剰な報復を避けて限度をわかまえること。体系化した法で混在する異民族を統制し、中央集権国家としてバビロニアの全盛をもたらしました。

気軽に Let's 英会話

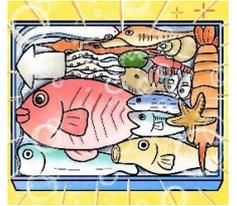
今月のキーワード：【Caesarean section】

「7月」は“July”ですね。古代ローマでは7月を“Julius”(ユリウス)といったそうですが、これはJulius Caesar(ユリウス・カエサル)に由来します。歴史の授業では「カエサル」と習いますが、英語では「ジュリアス・シーザー」と発音します。真偽は定かではありませんが、カエサルがそのように産まれたとの理由から「帝王切開」のことを“Caesarean section”(シザアリアン・セクション)といい、会話の中ではその短縮形“C-section”(シーセクション)がよく使われます。



今月のトピック：【ヘンテコ深海魚便】

「深海魚の聖地」と呼ばれる静岡県沼津市の戸田漁港の直送便が注目を浴びています。ノドグロなどの高級魚以上に人気なのが、食用ではない深海魚を詰め込んだ「ヘンテコ深海魚便」。底引き網漁で捕れた風変わりな姿の希少な魚が研究機関や標本作家から喜ばれています。処分の対象だった深海魚が、戸田の町起こしにも一役買っています。



才人の言葉

自分で薪と割れ
二度に温まる

アメリカの自動車会社フォード・モーターの創設者であるヘンリー・フォードの言葉。「漁夫の利」や「棚からぼた餅」を期待している人は体もふところも温まらない。

衣類に染みついた防虫剤の臭いが気になるときは、ハンガーに洋服をかけて全体にドライヤーの風を優しく当てます。温風でも冷風でも OK ですが、温風を当てすぎると衣類が傷むことがあるため冷風がおすすめです。特にウールの場合は必ず冷風を当てましょう。

知恵袋 得する知恵袋

振り向けばあそこにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【解釈力を磨く】

朝、元気に「行ってきます！」と出かけた人が事故に巻き込まれ、その日の夕方には全身を包帯に巻かれた姿で病院のベッドに寝ていた、という話を聞きました。その場にいた全員が「なんて不幸な出来事なんだ」「かわいそうに」と同情する中で、当事者の妻は「彼が生きていてくれて本当によかったです」と満面の笑みだったそうです。私はこのとき、とても大事なことを学びました。人を不幸にするのは「出来事」ではない。その出来事をどう「解釈」するかで自分にとっての現実がまったく違ってくる、ということです。自分の身にトラブルが起きたとき、あなたはそのトラブルをどう解釈しているでしょうか。自分に非があれば謙虚な気持ちで反省し、迷惑をかけた相手には思いやりの心で接するかもしれません。また自分に非がなければ「相手が悪い」「タイミングや状況が悪かった」など、原因となった要素を責めることもあるでしょう。けれど例えば



石につまずいて転んだとして、果たしてそこに石があったからなのか。「こんな所に石があるのが悪いんだ」と解釈することもできますが「足元の石に気づかなかったのは自分の不注意だ。転んだおかげで、次からは足元に気をつけようと思

えてよかった」と解釈できたらどうでしょうか。そうすることにより今まで苦難だ、逆境だと嘆いていた出来事すべてが逆転して、結果「よかったじゃないか」となるのではないのでしょうか。「すべての出来事は自分にも原因がある」と解釈して、現実を感謝の気持ちで受け止めてみる。これは一種の訓練です。繰り返し解釈力を磨くプロセスで、私たちは多くを学べるだろうと思います。

トナリの本棚

【爆弾】

2023年版のミステリーランキング2冠達成の呉勝浩の小説。連続爆破テロの犯人と警察が攻防を繰り広げます。ページをめくる手が止まらない一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail:info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎